

日本産業カウンセリング学会第14回大会案内

(第2号通信)

ご挨拶

「自立を支える産業カウンセリング」の前進を目指して

政治や経済の基盤が世界的な規模でゆらぎ始め、私たちの労働環境も複雑になり、仕事や人間関係から生じるストレスや雇用不安からメンタル不調を訴える人が急増しています。そうしたためまぐるしい社会の変化の中で、日本産業カウンセリング学会は第14回大会を迎えることになりました。

大会テーマは、「自立を支える産業カウンセリング —メンタルヘルスとキャリア支援の統合を目指して—」に決定しました。本学会は人間が持つ成長や復元力の可能性を信じて、産業・組織フィールドで活躍する研究者と実践家が、メンタルとキャリアの両面からのサポートについて力を合わせて研究と実践を進めていくことを目的としています。メンタルとキャリアの専門家のコラボレーション(協働学習)は、本学会の大きな特徴で他の学会に見られないものです。

期間は8月28日(金)~30日(日)の3日間で、場所は東京のJR中央線の市ヶ谷と飯田橋の中間にある法政大学です。28日(金)は研修会と学会員の企画によるシンポジウム。29日(土)は、大会記念講演と大会企画シンポジウム。勤労者の主体的な働き方や自立をテーマにしています。

個人研究発表会は、28日と29日(日)の両日にわたって開かれます。どしどし応募して下さい。学会員の実践活動の発表も大いに歓迎します。30日(日)は、学会企画シンポジウムとラウンドテーブル。ラウンドテーブルは、10のテーマに分かれ、学会員が自分の関心のある部屋に行って、意見交換や体験交流をするものです。情報や考え方の相互啓発の場に積極的に参加してください。

“出席して楽しい”大会にしたいと思います。皆さんの多数のご参加をお待ちしています。

日本産業カウンセリング学会会長
第14回大会準備委員長
桐村 晋次(法政大学)

I 大会テーマ

「自立を支える産業カウンセリング」
—メンタルヘルスとキャリア支援の統合を目指して—

II 会期・会場

会期: 2009年8月28日(金): 研修会、自主シンポジウム

29日(土): 大会 第一日目

30日(日): 大会 第二日目

会場:法政大学 市ヶ谷キャンパス

〒142-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1



●主なターミナルからの交通アクセス

18	東京駅	JR中央線快速-約4分	御茶ノ水駅	JR総武線-約4分	飯田橋駅	徒歩-約10分	市ヶ谷キャンパス
20	新宿駅	JR総武線-約10分			市ヶ谷駅	徒歩-約10分	
20	池袋駅	地下鉄有楽町線-約10分			飯田橋駅	徒歩-約10分	
19	渋谷駅	地下鉄半蔵門線-約6分	永田町駅	地下鉄有楽町線-約3分	市ヶ谷駅	徒歩-約10分	
20	上野駅	JR山手線-約4分	秋葉原駅	JR総武線-約6分	飯田橋駅	徒歩-約10分	

※ 内の数字は、総所要時間(乗り換え時間を除く)を表す

<http://www.hosei.ac.jp/hosei/campus/annai/ichigaya/access.html>

Ⅲ 大会スケジュール

8月28日(金)	8月29日(土)	8月30日(日)
研修会 受付開始 9:00～ 開始:9:30	大会1日目 受付開始 9:00～ 開始 9:20～	大会2日目 受付開始 9:00～ 開始:9:30
研修会 I 9:30～12:30 午前コース/1日コース	学会長挨拶 受賞者記念講演 9:30～10:30	個人研究発表【2】 9:30～10:40
	移動/休憩(20分)	休憩(10分)
	個人研究発表【1】 10:50～12:00	個人研究発表【3】 10:50～12:00
昼食 12:30～13:30	昼食/理事会 12:00～13:00	昼食 12:00～13:00
研修会 II 13:30～16:30 午後コース/1日コース	学会総会 13:10～14:30	学会企画シンポジウム 13:00～15:00
	大会記念講演 14:35～15:50	休憩(10分)
	休憩(10分)	ラウンドテーブル 15:10～16:40
休憩 (15分)	大会企画シンポジウム	16:40 大会終了
自主シンポジウム 16:45～18:45	16:00～18:00	
	懇親会 18:20～20:30	

Ⅳ 主要プログラム

【8月28日(金)】

(1) 研修会

半日コース 3時間 午前9:30～12:30/午後13:30～16:30
一日コース 6時間 午前9:30～午後16:30

＜研修コース＞

	コース	タイトル	講師(敬称略)
1日コース	A	精神分析的カウンセリングの実際	川上 範夫 (元奈良女子大学)
	B	認知行動療法	福井 至 (東京家政大学)
	C	プレイバック・シアター	小山田 治子 (C. H. R. 研究所)
	D	ヘルピング・スキルとしてのアクティブ・リスニング	寺田 正美 (働く人の心とキャリアの相談室)
	E	システムズ・アプローチ入門	平木 典子 (東京福祉大学大学院)
午前コース	F	産業カウンセリングとアセスメント	宮崎 圭子 (跡見学園大学)
	G	メンタル・ヘルスとストレス・コーピング	小澤 康司 (立正大学)
	H	就業形態の多様化	杉 忠重 (東洋学園大学)
	I	産業カウンセリングに必要な労働法に関する知識	古山 善一 (全国労働基準関係団体連合会)
	J	アサーションの理論	今野 能志 (行動科学研究所)
	K	キャリア・コンサルタントの役割・使命と技能検定への動き	木村 周 (東京成徳大学)
午後コース	L	産業カウンセリングとキャリア・カウンセリング	小澤 康司 (立正大学)
	M	インタラクティブ・フォーカシングとリスニング	諸富 祥彦 (明治大学)
	N	精神医学の基礎知識	尾久 裕紀 (白梅学園大学)
	O	アセスメント／バウムテストの実践的活用	足立 智昭 (島根大学)
	P	研究倫理－質的研究の進め方と倫理的配慮－	松下 由美子 (山梨県立大学)

※「研修会のご案内」も併せてご覧下さい。

(2) 自主シンポジウム

自主シンポジウムは、会員の皆様に自由に企画・討議していただくものです。時間はおおむね2時間を予定しております。現在企画される方が少なく、募集期間を延長させて頂きますので、希望される方は1号通信添付の用紙に必要事項をご記入いただき、FAXにて2009年6月27日までに大会事務局へご提出下さい。(準備委員会にて調整させていただく事があります)

【8月29日(土)】

(1) 受賞者記念講演

学会賞： 東京福祉大学大学院教授 松原 達哉 氏

1. 日本における産業カウンセリングの歴史
2. 学会の設立当時の苦労話や設立の目的
3. 協会との契約
4. 産業カウンセリングの特徴と他の学校カウンセリングとの違い
5. 産業カウンセリングを取り巻く社会情勢の変化
6. これからの産業カウンセリングの課題と学会への期待

(2) 個人研究発表【1】

発表者は以下の条件を満たしていることが必要です。

- | |
|--|
| <p>①大会当日において本学会正会員であること</p> <p>②会費を納入済みであること</p> <p>研究発表の方法は口頭発表とします。</p> <p>発表の時間は1件につき30分(発表20分・質疑応答10分)とし、研究発表者となるのは一人一回に限ります。ただし、連名発表者になる場合はこの限りではありません。</p> |
|--|

※発表原稿の様式や締め切り等につきましては、10ページからの「個人研究発表・自主シンポジウムの論文原稿作成要領」をご覧ください。

(3) 総会

29日(土)13:10より開催します。会員の方は是非ご出席ください。

(4) 大会記念講演

<p>大山 泰弘氏(日本理化学工業株式会社 会長)</p>

<p>『人の幸福とは何か一知的障害者に導かれた経営者としての私の歩み一』</p>
--

「日本で一番大切にしたい会社」として紹介された日本理化学工業はチョコレートの製造を行い、障害者雇用割合が社員の7割に及んでいます。現場では知的障害者達が活かされ、必要

とされ、役に立っていることの喜びを肌で感じながら、皆イキイキと働いています。大山氏は、人は誰でも活かされる固有の潜在能力を必ずもっていると強く信じ、知的障害者に導かれるようにこれまで会社を経営してこられました。働くことを通して社員が仕事と自分自身に誇りをもち、社員やその家族が幸せを感じることができるような温かい触れ合いのある会社づくりを進めてこられた大山氏に「人の幸せとは何か」について、知的障害者の雇用とその会社の経営を通してお話をさせていただきます。

(大山氏の大会記念講演は、講演会のみ参加を別途受けつけています)

(5)大会企画シンポジウム

テーマ

「現場の活力を守れ」

—勤労者の主体的な働き方をサポートするために、産業カウンセリングは何ができるか、何をなすべきか—

企業を取り巻く外部環境要因のみならず、従業員側のストレス耐性、環境適応能力の低下も企業現場の活力を低下させていると思われます。そうした状況下において、勤労者の主体的な働き方をサポートするために、産業カウンセリングは単なる相談機能だけでなく、人間の成長を促し、変化への適応力を高め、現場の活力を維持、再生させる役割を求められています。強い現場を守るために、産業カウンセリングは何が出来るのか、何をなすべきか、について次の各氏の提言によって、議論を深めたいと思います。

<シンポジスト>

・アイシン精機(株) 安全衛生部安全衛生推進グループ 職場活性化チーム
チームリーダー 浦野 浩子氏

・東武百貨店労働組合 本部委員長 柴桃 満之氏

・山岸製作所 代表取締役社長 山岸 良一氏

・CDS キャリア開発サポート沼倉事務所代表 沼倉 たか子氏

<指定討論者>法政大学大学院教授 桐村 晋次氏

<司会>日本生産性本部 メンタル・ヘルス研究所 研究主幹 根本 忠一氏

(5)懇親会

29日(土)18:20より開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

(会場:法政大学市ヶ谷キャンパス ポアソナードタワー25階「スカイホール」を予定)

【8月30日(日)】

(1)個人研究発表【2】及び個人研究発表【3】

個人研究発表【1】の説明をご参照下さい。

(2) 学会企画シンポジウム

学会企画シンポジウム

テーマ：時代の転換期における産業カウンセリングの緊急課題 ～新たな生き方・働き方を求めて～

大不況、雇用不安、成果主義の見直し、産業構造の変化など、時代は大きな転換期に入ったといえます。そんな中、職場で働く人々の「不安感」は増大し、「信頼関係」は大きく揺らぎ出して、メンタル不調者や勤労者の自殺も増える一方です。マクロからミクロまで大きな「変化」にさらされて、私たちはこれからどんな働き方、生き方をしてゆけば幸せになれるのでしょうか。どんな組織のあり方が求められるのでしょうか。今回は当学会研究委員会委員による4人のシンポジストと共に、個人のストレス対処からキャリア開発、組織のマネジメントまで、調査データや事例にもとづき、現場に役立つ産業カウンセリングの研究と実践について考えていきます。

シンポジスト：

- ・五十嵐敦(福島大学)「生活マネジメントの工夫とメンタルヘルス」
- ・平川完((財)関西カウンセリングセンター)
「働くよるこびに焦点を当てる～専門的支援の要件について考える～」
- ・宮城まり子(法政大学)「メンタルヘルス不全の予防とキャリアカウンセリング」
- ・渡部卓((株)ライフバランスマネジメント)「EAP からみた組織への働きかけ(仮)」

司会：廣川進(大正大学)

(2) ラウンドテーブル

ラウンドテーブル・ディスカッションでは、皆様が興味・関心のあるテーマの部会にご参加いただき、直接討議、意見交換していただく場です。

<テーマ>

1. 休職者の職場復帰と再適応の支援を考える
2. 失業者の就業支援を考える
3. 企業におけるキャリア支援とその課題について考える
4. 勤労者の過重労働とメンタルヘルスについて考える
5. 中小企業の人材育成とメンタルヘルスについて考える
6. 女性のライフコースの選択とキャリア形成について考える
7. 発達障害、境界例などの理解とその支援について考える
8. パワーハラスメントについて考える
9. 新しいタイプのうつとその対応について考える
10. 今、求められる社員研修とその内容について考える

◆日本産業カウンセリング学会第13回大会 参加申込要領

1. 大会参加に関して

- ①「大会参加申込書」にそって必要事項を記入してください。
- ②「返信はがき」には必要事項及び返信先の住所をご記入の上、50円切手を貼付して下さい。
- ③「大会参加申込書」や「返信はがき」は「返信用封筒」にて郵送してください。
- ④「**返信はがき**」は大会(研修会を含む)への参加証明書を兼ねています。大会当日受付にて参加証明書を提示後に名札を交付しますので、**忘れずに必ずご持参下さい**。
- ⑤同封の「振込用紙(ゆうちょ銀行用)」にて大会参加諸費用(参加費・研修会費・懇親会費など)をお振込みください。なお、郵便局備え付けの振込用紙をご利用の場合は**必ず通信欄に金額の内訳をご記入ください**。
- ⑤7月24日(金)までに上記の手続きを行ってください。

2. 個人研究発表について

- ①「大会参加申込書」に必要事項をご記入の上、返信してください。
- ②プログラムの作成の都合上、原稿とは別途に7月10日(金)までにお申込み下さい。
- ③期限までに、別掲の発表原稿作成要領に従い論文集に掲載する原稿(コピーを含む)を提出してください。
- ④原稿は、7月17日(金)までに大会事務局へ郵送してください。
※郵送いただいた原稿は返却できませんので、ご了承ください。
- ⑤発表者は以下の条件を満たしていることが必要です。

1)大会当日において本学会正会員であること

2)会費を納入済みであること

研究発表の方法は口頭発表とします。

発表の時間は1件につき30分(発表20分・質疑応答10分)とし、研究発表者となるのは一人一回に限ります。ただし、連名発表者になる場合はこの限りではありません。

3. 懇親会について

8月30日(土) 18:20開始 20:20頃終了予定

会場:法政大学市ヶ谷キャンパス内 ボアソナードタワー 25階「スカイホール」(予定)

※大会参加申込書の所定欄に参加の有無をご記入ください。

4. 研修会の参加に関して

- ①別添「研修のご案内」によりご希望のコースを第3希望までお選びいただき、大会参加申込書・返信用はがきの所定欄に必要事項をご記入の上、大会事務局宛にご郵送下さい。
- ②お申し込みの順に受付とします。ご希望のコースが申込多数の場合は事務局で第2希望・第3希望のコースへ振り替えさせていただきます
- ③研修会参加の申込み期限は大会参加と同じく7月24日(金)となっておりますので、期限内に手続きを済ませてください。
- ④研修会参加費につきましては **5. 大会に係る諸費用一覧**をご覧ください。

⑤別添「研修のご案内」に研修内容などが掲載されていますので、参加をご検討される方は必ずご一読ください。

5. 大会に係る諸費用一覧

①大会参加費(論文集1冊含む)

正会員	予約	8,000円	当日	10,000円
非会員	予約	10,000円	当日	12,000円
学生	予約	4,000円	当日	5,000円

②研究発表料(論文掲載料) 2,000円

連名発表の場合 正会員 1,000円(非会員 2,000円)

③発表論文に写真掲載の場合 1葉 500円

④論文追加代金 4,000円 当日 5,000円

⑤懇親会参加費 4,000円(学生2,000円)

⑥研修会参加費

1)半日コース(予約)	正会員	4,000円	(当日5,000円)
	非会員	5,000円	(当日6,000円)
	学生	2,000円	(当日2,500円)
2)1日コース(予約)	正会員	8,000円	(当日9,000円)
	非会員	10,000円	(当日11,000円)
	学生	4,000円	(当日5,000円)

※大会記念講演会参加費(講演会のみ参加) 1,000円

6. 振込先

郵便振替口座:00150-1-749819

加入者名:日本産業カウンセリング学会第14回大会

銀行振り込みの場合

銀行名:ゆうちょ銀行

金融機関コード:9900

店番:019

店名:〇十九店(セロイキョウ店)

預金種目:当座

口座番号:0749819

加入者名:日本産業カウンセリング学会第14回大会

V 今後の予定

6月27日	自主シンポジウム申し込み締め切り
7月10日	研究発表申し込み締め切り
7月17日	研究発表原稿締め切り
7月24日	研修会参加、大会参加の申し込み締め切り

7月下旬	プログラム発送
8月上旬	大会論文集発送
8月28日	大会開催

VI 大会準備事務局(大会に関するお問い合わせ先)

〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-28 飯田橋ハイタウン1020号室
 日本産業カウンセリング学会事務局内
 第14回大会事務局
 TEL&FAX:03-5228-4418
 e-mail:jaic14th-taikai@amail.plala.or.jp

※事務局が不在の場合もありますので、できるだけメールまたはFAXにてお問い合わせください

■ 個人研究発表・自主シンポジウムの論文原稿作成要領

論文集掲載原稿は次の要領で作成してください。

今大会では、発表申込者に別途原稿作成要領の送付はいたしません。

発表をお申し込みの方は以下を熟読の上原稿を作成し、期日までに大会準備委員会事務局へご郵送ください。

(1) 研究発表

① 原稿用紙と記入方法

ワードプロセッサ・パソコンワープロソフトを使用し、黒色で鮮明に印刷してください。

原稿は論文集の完全版下として、そのまま使用します。

用紙はA4版上質紙等を使用してください。(感熱紙不可)

文字は明朝体で揃えてください。

1ページは24字×45行×2段を基本に(2)レイアウト図を基準に作成し、2ページ分、または4ページ分を提出してください。3ページになりますと見開きの右側が空欄のページとなりますので、原稿は必ず2ページまたは4ページでお送りください。

② 表題・本文のレイアウト

「題目」は1・2行目に本文より大きい文字を使用して記入してください。

「氏名」は3行目に記入してください。なお連名発表者がいる場合には、口頭発表される方の氏名の前に○印をつけてください。

「所属」は4行目にかっこでくっつけて記入してください。連名発表者の所属が同一であれば、ひとつだけ記入してください。所属が大学の場合、学部まで記入し大学院生は研究科名を記入してください。連名者が多数の場合は一般に通用する略称を用いても差し支えありません。

「本文」は必ず6行目から書き始めてください。

題目の字数・副題等の関係から上記の行数を若干変更しなければならない場合は、印刷範囲の枠をはみ出さないように本文を削るか、行間をつめて印刷してください。

文末にキーワードを3語程度入れてください。

③図・表・写真

図・表・写真の合計面積が現行全体の1/3を越えないようにしてください。

図・表は原稿に直接貼り付けるか、別紙に書いたものを貼り付けてください。

大きい図や表を縮小して貼り付けてもかまいません。ただし縮小コピーを繰り返すと見えにくくなる場合がありますので、ご注意ください。

写真掲載の場合、写真は原稿用紙に貼りつけないで、裏面に研究発表の氏名・写真番号・タイトル・大きさ(縦・横の長さ)の指定などを記入してください。

④原稿の送付

原稿は折らずに、**必ず簡易書留で郵送してください。**

(e-mail・宅配業者のメール便などは不可)

プログラムの編成・座長依頼等に使用しますので、**原稿のコピーを必ず2部同封してください。**

1つの研究グループが同じテーマについて「一連の発表」を行うときには、発表順位を示し、代表者がとりまとめて一括発送してください。この場合封筒に「一括発送」と明記してください。

⑤発表機材について

発表に機器の使用をご希望の方は、申込用紙に所定の欄がありますので、忘れずにご記入ください。**事前の申込みがない場合は事務局で準備する機材の利用ができません。**(ご自身で用意された機材を使用する場合、特に申込みは必要ありません)

プロジェクター・ビデオ・DVD・OHPなど一般的に研究発表で利用される機器につきましては大会事務局で準備いたしますが、使用できる機器の詳細につきましては別途大会事務局までお問い合わせください。

また、当日の急なトラブルに対応できるよう発表用のデータはメモリスティックなどでバックアップをお取りいただき、当日ご持参されることをおすすめいたします

なお、諸般の事情で機材がご希望に沿えない場合は事前にその旨ご連絡いたしますので、ご了承ください。

当日配布の資料につきましては発表者が必要部数(50部程度)をご用意ください。大会事務局においての印刷はいたしかねます。

※小型のパソコンやMacintoshでの発表を予定されている方は、プロジェクター入力用のコネクターが合わない場合がありますので、お手数ですが専用の変換ケーブルをご持参下さい。

⑥原稿提出について

2009年7月17日(金) 必着でお願い致します。

なお、お送りいただいた原稿の訂正はできません。訂正が必要な時は、大会当日に正誤表を配布していただくこととなりますので、ご注意ください。

<研究発表等に係る書類提出先・問い合わせ先>

第14回大会事務局
 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-28
 飯田橋ハイタウン1020号室
 日本産業カウンセリング学会事務局内
 TEL&FAX:03-5228-4418
 e-mail:jaic14th-taikai@amail.plala.or.jp

(2)レイアウト図

原稿標準仕様 左右余白 1.5cm 上下余白 2.5cm

◆原稿1枚目の様式

◆原稿2枚目～4枚目の様式

題 目		↑ 4行 ↓		前の頁から		← 24字 →	
氏名(3行目) (所属機関)							
1行(あける)							
書き始め(6行目)	2字あける	前の段から		上下45行			
上下40行							
次の段へ						<キーワード>	